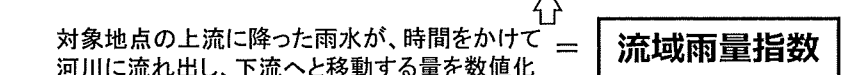


大雨警報（浸水害）の危険度分布(色分け表示された危険度の意味)

※1 大雨警報(浸水害)の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとってください。

※2 自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令されうる状況です。

流域雨量指数の概要



洪水警報の危険度分布

高	● 犯罪発生情報
危険度	● 犯罪危険情報(「避難勧告」相当)
低	● 犯罪警戒情報(「避難準備・高齢者等避難開始」相当)
	● 犯罪注意情報
	● 発生なし

洪水警報の危険度分布

高
危
険
度
低

——極めて危険
——非常に危険
——警戒
注意

（災害注意水位等を超えていれば）
（避難勧告等）
（水防団内浸水水位等を超えていれば）
（避難準備・高齢者等避難開始）
（相当地）

今後の情報等に留意

洪水警報の危険度分布（色分け表示された危険度の意味）			
色が持つ意味	土砂崩壊や水害被害等に起因した 食料の行動の例 [※]	土砂崩壊や水害等の浸水に伴う そこから逃げる際の行動の例	

第1条 この法律の施行に関し必要な事項は、別表第一及び第二に掲げるもののほか、この法律に定めるものの範囲内において、以下のとおりとする。

第2条 この法律の施行に関し必要な事項は、別表第三に掲げるもののほか、この法律に定めるものの範囲内において、以下のとおりとする。

第3条 この法律の施行に関し必要な事項は、別表第四に掲げるもののほか、この法律に定めるものの範囲内において、以下のとおりとする。

第4条 この法律の施行に関し必要な事項は、別表第五に掲げるもののほか、この法律に定めるものの範囲内において、以下のとおりとする。

気象庁ホームページにおける表示イメージ

防災気象情報活用上の留意点（２）

- ◆ 1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が数時間続くと、災害が発生する可能性が極めて高くなります。
土砂災害、河川の急な増水・氾濫、アンダーパスや地下空間の水没など
- ◆ 大雨が降り続いて一旦小康状態になった後に非常に激しい雨が降ると、土砂災害の危険度が一段と高くなります。
- ◆ 記録的短時間大雨情報が発表された場合、すでに、その地域周辺では何らかの災害が発生している可能性があります。
この情報が川の上流の地域に発表された場合、川は一気に増水します。

防災気象情報活用上の留意点

- ◆ 警報や注意報が発表
→ 警戒期間や注意期間を確認してください。
警報や注意報は、防災対応の時間を確保できるよう、警戒期間及び注意期間に入る3～6時間前に発表するようにしています。
- ◆ 警報・注意報・気象情報は
常に最新のものを利用してください。
- ◆ 大雨警報、洪水警報や土砂災害警戒情報の発表
→ メッシュ情報、危険度分布を確認してください。
- ◆ 土砂災害は、雨がやんでから発生する場合があります。
大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報は雨がやんでもすぐには解除しません。

気象災害から身を守るために

「まだ大丈夫」「自分は大丈夫」「これまでも大丈夫だった」など自分に都合よく考える傾向を「**正常化の偏見**」といいます。自然を甘く見ることなく、最悪の事態を想定した行動をお願いします。

プロアクティブの原則(積極的対応)

1. 疑わしいときは行動せよ
2. 最悪事態を想定して行動せよ
正常化の偏見に陥って、希望的観測をしてはいけない
3. 空ぶりは許されるが見逃しはゆるさない
空振り覚悟で積極的に対応すべき

結果的に、空振りに
終わっても・・・

あぁ、たいしたことな
くてよかった！



ご静聴ありがとうございました。

